

| 会 議 録   |  | 令和 3 年 7 月 29 日 作成 | 令和 7 年 3 月 末 日 廃 棄 |
|---------|--|--------------------|--------------------|
| 会議名     | 京都府上京警察署協議会（令和 3 年度第 1 回）  |                    |                    |
| 開催日     | 令和 3 年 7 月 21 日（水曜日）   |                    |                    |
| 時 間     | 午後 1 時 30 分から午後 2 時 35 分までの間（65 分）   |                    |                    |
| 場 所     | 京都府上京警察署 講堂  |                    |                    |
| 出席者     | 大橋会長、北川副会長、矢島委員、朝日委員、山田委員、岡本委員、<br>ハッカライネン委員、清水委員<br>（欠席 伊藤委員） <span style="float: right;">計 8 人</span>  |                    |                    |
|         | 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長<br>刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 <span style="float: right;">計 10 人</span>  |                    |                    |
| 諮 問 事 項 | 1 令和 3 年上半期犯罪発生状況について<br>2 令和 3 年上半期交通事故発生状況について<br>3 特殊詐欺被害状況と対策について  |                    |                    |
| 会 議 内 容 | 1 会長挨拶 <span style="float: right;">司会 副署長</span><br>2 署長挨拶<br>3 各委員自己紹介<br>4 署員自己紹介<br>5 協議 <span style="float: right;">司会 会長</span><br>諮問事項説明<br>(1) 令和 3 年上半期犯罪発生状況について～生活安全課長<br>(2) 令和 3 年上半期交通事故発生状況について～交通課長<br>(3) 特殊詐欺被害状況と対策について～生活安全課長<br>(4) その他<br>【委員】信号無視、逆走等、子どもを乗せた婦人用自転車のマナーの悪さが目立つ。通勤、通学時間帯に交番前で立番をしていただいております、心強いし効果的だと感じる。<br>【警察】自転車の移動については、婦人用自転車も含め通勤通学の時間帯を中心に街頭指導を徹底していく。交番前の立番についても可能な限り継続して実施していく。 |                    |                    |

会 議  
内 容

【委員】 特殊詐欺対策について電話機の機能が向上していることが周知されていないので、更に広報が必要と感じる。

【警察】 今回、上京防犯協会の協力を得て防犯機能付電話購入時の補助金を頂くことになったので、有効に活用し、広く地域住民の方に周知していきたい。

【委員】 最近、役所や警察を名乗る者がいるので、広報の方法について検討してほしい。実録音声による特殊詐欺被害事例と防犯機能付電話の実演による説明は大変分かりやすかった。

【警察】 広報については、身分証の提示等により、警察官の身分を明確に実施する必要がある。金融機関や行政関係者を名乗る者については、不審点があれば必ず確認し、必要があれば警察へ連絡するよう高齢者の方にも周知していく必要がある。

【委員】 依然として自転車盗の割合が多い。防犯対策として来年4月、同志社大学に「継志館」というボランティアセンターが建設予定であるので、地域住民と学生の連絡を強めるのに活用してはどうか。上京区役所では、今年、街頭防犯カメラ21台を設置予定であり、現在17件の手続きを行っているところである。

【警察】 ボランティアセンターについては具体的な利用方策等を検討する。防犯カメラについては、地域住民の方の要望も踏まえ、犯罪発生状況等を勘案の上、必要に応じて要望していきたい。

【委員】 高齢者の出会い頭事故については、歩行者と自転車が含まれているのか。上京区は細街路が多く、自転車からの死角が多いので、自転車を対象としたミラーの設置を検討できないか。

【警察】 行政の道路管理者と具体的な設置場所等について検討する必要がある。

【委員】 平成26年から小川学区で毎月1回、街頭自転車指導を実施しており、年々自転車のマナーが向上していると感じる。自転車に乗りながらのイヤホンや傘さし運転は多いが、地域の地道な活動が実を結んでおり、今後も地域の各種団体との連絡が大切と感じる。

自転車の施錠があるものとなないものの被害件数が同数なのは何故か。

【警察】 小川学区の街頭自転車指導については、引き続き実施していく。自転車被害の件数については、施錠があるものとなないものの被害件数が同数だが、無施錠の自転車の方が盗まれる確率が高い。鍵の掛かっている自転車は盗みにくく、自転車を止める際には必ず鍵を掛けるよう広報啓発している。

【委員】 郵便局員や銀行員、警察官と言え、身分を偽っていても高齢者は

会 議  
内 容

は信用してしまう。上京区は高齢者が多く、特殊詐欺の被害が多いので金融機関等の窓口での声掛けも必要と感じる。犯人は、息子や孫を心配する気持ちにつけ込んでおり、窓口担当者等が詐欺被害の振り込みを止めようとする、高齢者から「何故止められなければならないのか」と言われるようだ。

【警察】 騙されている人は、何故、銀行の窓口で行員から止められなければならないのか理解できないことが多いため、警察から金融機関に「質問表」を配布し、預金を引き出しに来た方に銀行からの質問ではなく警察からの質問という形を取っていただくようお願いしている。不審と感じる引き出しについては、できるだけ早く警察へ連絡するよう依頼している。今後もきめ細かく対応していきたい。

【委員】 外国人に対する振り込み詐欺被害防止のため、不審な電話が掛かってきた際には「警察の音声流れる」等といった携帯電話対応アプリがないか教えてほしい。

【警察】 外国人向けの被害防止音声アプリの運用はない。今後、そのようなアプリを製作するには予算等の問題もあり、様々な調整が必要となってくる。

【委員】 高齢者にはスマートフォンは行き届いておらず、高齢者にとっては固定電話の方が安心感がある。ディスプレイがあれば犯罪予防になるが、ディスプレイがないと固定電話の方が危険だと感じる。防犯機能のついた固定電話をもっと使ってもらえばいいと感じる。

【警察】 上京区では11件の特殊詐欺被害が発生しており、全て固定電話による被害と判明している。京都府下で上半期に発生した95件の被害のうち、77件81.1%が固定電話での被害であり、固定電話対策を十分に行うことが防犯対策の一番の近道と考えている。

【委員】 区役所を名乗る還付金詐欺が増えている。警戒アラート等で京都市内の被害は情報共有されている。防犯用チラシ等、区役所に設置することが可能なので今後から協力させていただく。

【警察】 必要な際には状況に合わせて、依頼させていただく。

## 8 事務連絡

令和2年度第2回上京警察署協議会は、コロナ禍の情勢に応じ、可能であれば令和2年9月中旬から下旬に開催の予定である。

以 上

## 第1回京都府上京警察署協議会の開催状況

